

Q スポーツ振興の施策は

A 世代交流の環境作りで



▲チャグスポでのサマーキャンプ（いかだ遊び）

Q1 第3次滝沢村スポーツ振興計画の成果を伺います。

A1 チャグチャグスポーツクラブの立ち上げや施設予約システムの導入、元氣アップ教室の実施、部活



武田 俊和 議員（しののめ会）

動指導者での地域の人材の活用、県民体育大会町村の部15連覇達成など、各分野において、成果が表れたと考えます。

Q2 体育指導者の現況、動向、今後の推進の方策を伺います。

A2 住民の要望に応じて実技指導や普及啓蒙活動、また各競技スポーツの指導者が各地域で活躍していると考えます。しかし、ニーズが高量化、多様化の状況にあり、より質の高い指導者育成の観点で、更に継続的に研修会等を開催し、育成と充実を図ってまいります。

Q3 5年を経過したチャグチャグスポーツクラブの成果と今後の施策の考えを伺います。

A3 現在組織数14団体、登録者373名です。各団体の活動の他、合同レクリエーション、交流運動会、キャンプ、ボランティア活動を通し会員相互の連帯感、思いやりの心や、礼儀、感謝の気持ち、団結心、勇気など、青少年健全育成に寄与していると考えます。

サポート会員研修会等で、保護者の参加数が増加したこと、運営協議会で活動の活発化に向けて意見交換や事業への反映がなされたことが大きな成果と考えます。また発足以来、住民の認知度は年々高まっており、会員の増加も見込まれます。これまでは、あらゆる世代間の交流が図られる環境作りと、生涯スポーツと競技スポーツが共存、融和するクラブづくりを目指し、基本目標である、「みんなが主役のスポーツまちづくり運動」の展開を推進します。

Q 子育て支援の具体化は

A 財政状況見ると難しい



武田 猛見 議員

Q1

①乳幼児医療費の無料化が、有料化されたことによる影響は。

②一部負担や所得制限をなくした場合の村の負担額は。

③乳幼児医療費の軽減策の考えは。

A1

①16年に単独事業を廃止し、村単独分が大幅に落ち込んではいませんが明確に把握できていません。

②無料化した場合、一部負担分で約1,350万円、所得制限の撤廃で約7,530万円の財源が必要となります。

③無料化実現の軽減については、財政状況から見ると難しいと考えます。



▲「防火パレード」川前保育園のみなさん

負担の大きい保育料の軽減は

Q2

①定率減税の廃止による村の対応は。

②村独自の保育料の軽減の計算は。

③負担が大きく伴う階層から軽減し、急激な負担を避け段階的に行う考えは。

A2

①定率減税縮減に伴う「国基準額」の改正があり、スライドさせる考えです。

②独自の軽減は、国の7階層区分を細分化し16階層にし低所得層に配

慮しています。

③児童一人当たりの村の負担は、他市町村より高くなっており、現行で行きます。

障害者自立支援の独自策は

Q3

①国の12月補正予算による村の対策は。

②特別対策はあっても、事業者も利用者も不安は大きい。村の支援はあるのか。

A3

①村の該当するものは3事業あり、19年度から実施します。

②事業者支援は、新体系の移行を支援し、利用者へは、国の軽減の適正運用に努めます。

Q4

④少人数学級実施による効果と拡充の考えは。

A4

効果は、学習面では教師の個別指導時間が増え、児童が授業に集中でき、教室も余裕があります。生活面でも、児童と話す機会が増えています。拡充は、施設整備を含め、県に要望してまいります。